

# 青野沢川河川災害復旧工事（その1）

## 2017年5月 工事だより

工期：2014年12月17日 ~  
2018年3月23日

### 工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	58.6 %	掘削、盛土
護岸工	26.7 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、樹他
付属構造物工	46.5 %	階段他
構造物撤去工	68.4 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	64.9 %	地盤改良
樋門・樋管本体工	35.1 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	49.7 %	鋼単純非合成箱桁橋他
橋梁下部	91.3 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	100.0 %	旧橋撤去
仮設工	56.5 %	工事用道路、水替え他

### トピックス

#### 地球温暖化で今年は猛暑！

気象庁によると、今年の夏は上空の偏西風が平年よりも日本の北側を流れるため、日本列島は高気圧に覆われる日が多くなるそうです。これに『地球温暖化』の影響も加わって全国的に厳しい暑さとなる見込みです。熱中症に気を付けましょう！

近年、地球温暖化という言葉をよく耳にします。過去100年間に地球全体の平均気温は0.3~0.6℃上昇し、海面は10~35cm上昇しました。将来、さらに温暖化が進んで海面が60cm上昇すると、海面より標高が低い0m地帯の面積が1.5倍になるといわれています。また、雨の降り方が短い時間に集中したり、逆に長い間、雨が降らなかったりするなど、異常気象が発生しやすくなることも心配されています。

洪水や高潮から人の命や財産を守るためには、『堤防を強くする』などの対策と併せて、水害に強いまちづくりや、災害時の避難のしやすさなどが必要です。私たちの暮らしの安全性を確保するために、土木は災害に強い仕組みを作ることに貢献しています。

出展：土木学会「どぼくのこぼし」

### 施工状況



全景写真

港橋下部工は、兩岸7ヶ所の埋戻しも完了しまして、縦壁を立ち上げていっています。堤防工事は、河川中央部の仮締め切り矢板を撤去しました。引き続き法覆ブロックを施工します。

上流部では樋管工の地盤改良をしています。

港橋下部工



縦壁部コンクリート打設

法覆護岸工



ブロック設置状況（河床部）

仮締め切り工



撤去状況

地盤改良工



トレンチャー



トレンチャーを回転させながらセメントを地盤に注入していく



地盤改良状況

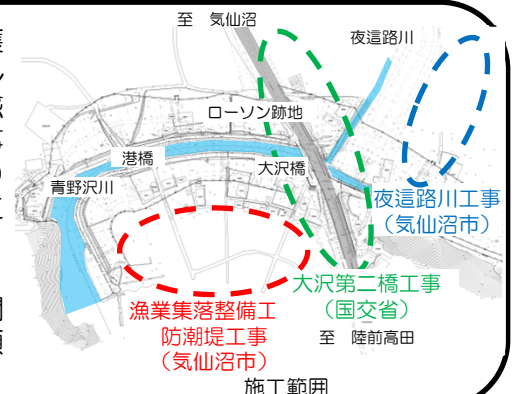
### 工事担当者から一言



現場代理人 長谷川 潤

下流部右岸側におきましては、河川内の護岸工事が概ね完了し、締め切り矢板を撤去しました。以前より川幅が広がったのを実感して頂けるかと思えます。今後は、隣接工事である国道45号線大沢第二橋工事（国交省）や漁業集落整備工事（気仙沼市）、防潮堤工事（気仙沼市）も本格的に始動します。

近隣皆様には、ご迷惑かからないように関係各位と調整していきますので、宜しくお願い致します。



### 連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町山240-5

電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510

ホームページ： <https://www.takenaka-doboku.co.jp/aonosawa/index.html>

人と地球の架け橋に

**竹中土木**